

References

- 1) Baardseth, E. 1941. Results of the Norwegian Sci. Exped. to Tristan da Cunha 1937-1938, (9): 1-173. 2) Dawson, E. Y. 1950. Amer. J. Bot. 37(2): 149-158. 3) — 1962. A. Hancock Pacific Exped. 26(1): 1-207, pls. 1-50. 4) Kang, J. W. 1966. Bull. Pusan Fish. Coll. 7(1/2): 1-125, pls. 1-12. 5) Kützing, F. T. 1866. Tabulae phycologicae oder Abbildungen der Tange. 16, i+35 p. 6) Kylin, H. 1924. Lunds Univ. Årsskr., N. F. Avd. 2, 20(6): 1-111. 7) — 1929. Ibid. 25(2): 5-14, pls. 1-12. 8) — 1956. Die Gattungen der Rhodophyceen. xv+673 p. Lunds. 9) Segawa, S. 1941. Sci. Pap. Inst. Alg. Res., Hokkaido Imp. Univ., 2(2): 251-271, pls. 55-58. 10) Yamada, Y. 1944. Ibid. 3(1): 11-25. 11) Zinova, A. D. 1963. Bot. Mater. Spor. Rast. Bot. Inst. Akad. Nauk SSSR. 16: 52-67.

* * * *

エゾヒメベニヤハズ (新称) は北海道利尻島沼浦および御崎に産し、水深 1~4m のエゾイガイの体上または無節石灰藻上に生ずる。ヒメベニヤハズ属 *Schizoseris* は、従来 9 種が世界の海から知られているが、本種は高さ 1.0~1.4 cm で、そのいずれの種よりも体が小さい。また体の厚さも薄く一層の部分で 15-20 μ , 中肋の部分 (3~6 層) で 75-100 μ , 莖部で 160 μ であり、体の分岐も簡単であることなどが主な特徴として上げられ新種として報告した。本種は四分孢子体のみで、有性体は未発見である。

□ Y. HORIKAWA: *Atlas of the Japanese Flora*. 12+500+viii pp., 学習研究社, 1972. ¥ 25,000. 著者の堀川博士はコケ植物の分類地理を研究されていたが、早くからコケ植物以上の高等植物の分布論にも仕事を広げられ、この方面の成果も多大なものがあった。今回出版された上記の著書 (日本語題名は日本植物分布図譜という由) は、植物分布地理の面での堀川博士の研究成果の集大成とみられる。取扱われたのは 500 種のコケ、シダ、種子植物で、各種について分布図と、生育型、ノートなどが英文で附されている。分布図は堀川博士考案になる三面立体法で示され、垂直分布と水平分布で 1 枚の図に示されている。分布図の作成方法が本書の最もユニークなところで、これをもとにして分布地理とか植物社会学などの種々なデータをも引き出すことができよう。近年における植物地理学上の大きな収かくといえる。なお、本書は 5 巻をもって完結する予定の由であるが、一日も早く 2 巻, 3 巻と刊行されることを祈ってやまない。 (井上 浩)